



平成 18 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 イーピーエス株式会社  
代表者の 代表取締役社長 巖 浩  
役職氏名  
(登録銘柄 コード番号：4282東証二部)  
問い合わせ先 常務取締役 神宮 孝一  
電 話 番 号 03-5684-7797(代表)

## 平成 18 年 9 月期中間業績予想及び通期業績予想の修正について

平成 18 年 9 月期中間（平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想及び平成 18 年 9 月期（平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）の業績見通しに関し、平成 17 年 11 月 11 日付当社「平成 17 年 9 月期決算短信（連結）」及び同日付当社「平成 17 年 9 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました中間業績予想及び通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### ・平成 18 年 9 月期中間業績予想数値修正

##### 1. 平成 18 年 9 月期中間 連結業績予想修正

(1) 中間期業績予想修正（平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

(単位百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
期初予想 (A)	7,122	475	236
今回修正予想 (B)	7,128	657	333
増減額 (B - A)	6	182	97
増減率	0.1%	38.3%	41.1%
(ご参考) 前年実績	5,910	469	359

##### (2) 修正理由

当社グループにおいて当中間連結売上は、7,128 百万円（期初予想比 0.1% 増）と概ね期初予想どおりになることが予想されます。

利益面では、CRO 事業を行う当社において、プロジェクトの進捗が予想以上に順調に進んだことにより期初予想を大幅に上回ることが見込まれます。一方、SMO 事業を遂行しております株式会社イーピーメントは、新規受注案件の低迷により期初予想を下回る状況となることを見込まれます。

上記の結果、当社の期初予想超過分が、株式会社イーピーメントの期初予想未達分を大幅にカバーしたことにより当中間連結経常利益は、657 百万円（期初予想比 38.3% 増）となることを見込まれます。

当中間連結純利益は、前述と同様な理由で333百万円（期初予想比41.1%増）となることを見込まれます。

## 2. 平成18年9月期中間単独の業績予想修正

### (1) 中間期業績予想修正（平成17年10月1日～平成18年3月31日）

（単位百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
期初予想（A）	4,111	322	189
今回修正予想（B）	4,353	638	367
増減額（B - A）	242	316	178
増減率	5.9%	98.1%	94.2%
（ご参考） 前年実績	3,577	360	326

### (2) 修正の理由

当社の当中間売上高は、4,353百万円（期初予想比5.9%増）となることを見込まれます。

その主な理由として既存プロジェクトの症例数増加や新規案件の開始時期の前倒等により期初予想を上回ることが見込まれるためです。

経常利益につきましては、638百万円（期初予想比98.1%増）と大幅な超過達成となることを見込まれます。

その主な理由として、売上増による稼働率アップ等で大幅に利益が増加すると見込まれるためです。

中間純利益は、367百万円（期初予想比94.2%増）となることを見込まれます。その主な理由は前述と同様な要因によるものです。

## 平成18年9月期期末の業績見直し修正

### 1. 平成18年9月期 連結通期業績見直し修正

#### (1) 通期業績見直し（平成17年10月1日～平成18年9月30日）

（単位百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
期初予想（A）	16,041	2,110	1,063
見直し（B）	15,784	1,968	984
増減額（B - A）	257	142	79
増減率	1.6%	6.7%	7.4%
（ご参考） 前年実績	13,004	1,811	1,126

### (2) 修正理由

当社グループにおいて当連結売上見直し予想は、15,784百万円（期初予想比1.6%減）となることを見込まれます。その主な理由としてSMO事業を遂行しております株式会社イーピーメントの中間期までの新規受注の低迷分を、下期において取戻

すことはできないことが見込まれるためです。

これにともない当連結経常利益見直し予想が、1,968百万円（期初予想比6.7%減）となることが見込まれます。その主な要因は、前述のSMO事業を行う株式会社イーピーメントにおいて中間期までの売上不足による利益減を取戻すべく、新規人員確保の延期及び経費削減等による経営努力をしておりますが、期初予想未達となることが見込まれるためです。

当連結純利益は、984百万円（期初予想比7.4%減）となることが見込まれます。その主な理由は前述と同様な要因によるものです。

## 2. 平成18年9月期 単独通期業績見直し修正

(1) 通期見直し（平成17年10月1日～平成18年9月30日）

（単位百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
期初予想（A）	9,220	1,321	766
見直し（B）	9,369	1,390	806
増減額（B - A）	149	69	40
増減率	1.6%	5.2%	5.2%
（ご参考） 前年実績	7,896	1,221	813

### (2) 修正の理由

売上高につきましては、9,369百万円（期初予想比1.6%増）になると見込んでおります。中間期までの症例数の増加や開始時期の前倒等による売上増加は、通期では微増に留まるものと見込んでおります。

経常利益は1,390（期初予想比5.2%増）、当期純利益は806百万円（期初予想比5.2%増）となることが見込まれます。

その主な理由として、中間期までの売上増による稼働率の向上は、通期において若干低下すると見込まれるためです。

上記の業績見直しは現時点での入手可能な情報による判断に基づき算定しており、不確定要素の変動により、実際の業績は、本資料における見直しと異なる可能性があることをご承知おきください。

以上